

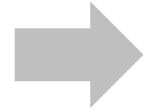
～ 人材を中心に ～

デザイン経営宣言後の課題

2021年11月19日（金）

商務・サービスグループ デザイン政策室

「デザイン人材」「創造性人材」に関する検討の系譜



大学・企業等での実践

1. 高度デザイン人材の育成

企業・大学等において、事業課題を創造的に解決できる人材（高度デザイン人材）の育成を推進する。

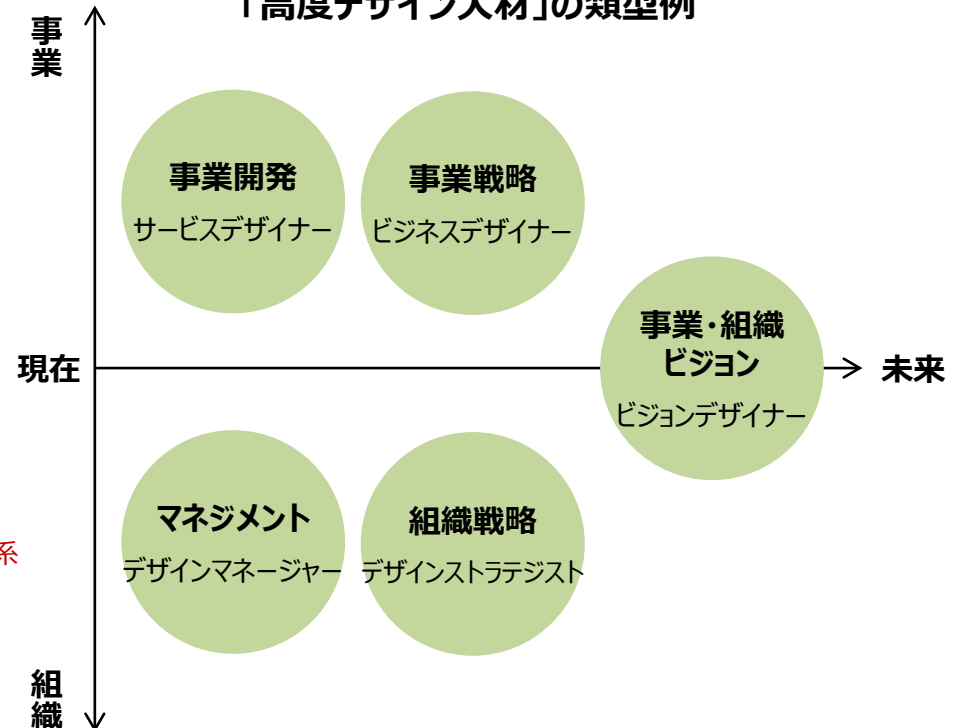
企業においては、ビジネス系・テクノロジー系人材がデザイン思考を、デザイン系人材がビジネス・テクノロジーの基礎を身につけるための研修などを実施するとともに、専門領域の異なる人材同士が創造的に課題を解決するプロジェクトやワークショップなどを導入する。

企業

ビジネス系・テクノロジー系大学においては、デザイン思考のカリキュラムや芸術系大学との連携プロジェクト（例：IIS-RCAデザインラボ）などを、芸術系大学においては、ビジネスおよびテクノロジーの基礎を身につけるためのカリキュラムやデザイナーとしての実践的能力を向上させるための産学連携プロジェクト（例：広島市立大学芸術学部共創ゼミ）などを実施する。

大学
①ビジネス・テクノロジー系
②芸術系

「高度デザイン人材」の類型例



(参考) 大学の動向

■ 武蔵野美術大学

造形構想学部／大学院 造形構想研究科 (2019.4～)

「…クリエイティブイノベーション学科では、ビジネス、テクノロジー、
ヒューマンバリューの3つの領域を融合した学びを展開し、同時
開設される市ヶ谷キャンパスにてプロジェクトベースの実践的な
教育を大学院と一体となって行います。」

(出典) 武蔵野美術大学

学部・大学院の枠組みを超えた連続性のある学びで、「創造的思考力」を実社会で応用する方法を身につける。
<http://ci.musabi.ac.jp/overview/>

■ 多摩美術大学

TCL-クリエイティブリーダーシッププログラム (2020.4～)

「…本プログラムを通じ、デザインとビジネスを掛け合わせたハイ
ブリッド人材を育成することで、デザインの方法論でビジネスをド
ライブさせる「デザイン経営」を社会実装させ、グローバル環境に
おける競争力強化に欠かせないブランド力向上やイノベーション
創出などに貢献することを目指します。」

(出典) 多摩美術大学

日本初の「デザイン経営」人材育成のための講座 「TCL-多摩美術大学クリエイティブリーダーシッププログラム」来春開講
https://www.tamabi.ac.jp/topics/pr_20191121.pdf

■ 九州大学

芸術工学部 未来構想デザインコース (2020.4～)

「…本コースでは、豊かな発想力と深い洞察力をもって、
よりよい未来を構想し、それを設計や実践を通して実現す
るための総合的な能力を持つ人材を育成します。とくに新
たな仕組み・サービス・事業などを、企業や行政などの組
織の中で、あるいは自ら起業して、社会に提案・計画・実
装するための知識とスキル、そしてマインドを養います。」

(出典) 九州大学 芸術工学部 未来構想デザインコース コース紹介

<https://www.df.design.kyushu-u.ac.jp/category/about/>

■ 東京理科大学

経営学部 国際デザイン経営学科 (2021.4～)

「国際的かつデザイン思考の経営を学び世界で活躍する実践
的な人材を育成するため、国際デザイン経営学科を2021年
度から新たに設置します。」

(出典) 東京理科大学 東京理科大学における学部・学科の再編について

<https://www.tus.ac.jp/today/archive/20190620100.html>

(参考) 企業等の動向

■ 高度デザインブリッジスクール (トリニティ株式会社)



“「高度デザイン」は未来で活躍するための大切な素養です。

「高度デザイン人材」には様々な解釈や発信がありますが、ひとことで言うと、「あるべき未来を構想し、事業課題を創造的に解決できる人材」のことだとトリニティは考えます。

今後はさらにデザインとビジネスをつなぎ、社会を変革する人材が必要です。高度デザイン人材はそれを叶える実践者です。”

(出典) トリニティ株式会社
事業採択 デザイナーから「高度デザイン人材」へと深化する、実践型リカレントプログラム
「高度デザインブリッジスクール powered by トリニティ」
<https://trinitydesign.jp/news/3881/>

■ Designship Do (一般社団法人デザインシップ)



“日本においても、経済産業省らが発表した「デザイン経営」宣言や「高度デザイン人材育成ガイドライン」など、国を上げて産業競争力としてのデザインの重要性が唱えられています。その中で定められている「高度デザイン人材」とは、デザインを基軸にしてリーダーシップを持ってビジネスの中核に立てる人材のこと。それはデザイン人材の求められる新しいかたちでありながら、しかし日本においては未だに極めて不足したままであります。

各教育機関でも当ガイドラインに則った様々な教育実践がおこなわれていますが、高度デザイン人材の教育は始まったばかりで、その成果が具体的に現れるのはまだ少し先になりそうです。そこで、私たちのような小さな社団法人だからこそできることがないかを考え、今までカンファレンス運営を通じて得たつながりを活用して、忙しい社会人でも受けやすい講座をコーディネートしました。

「高度デザイン人材」を多く輩出するべきという考えに賛同する立場として、本プロジェクトにおいてデザイン・ビジネス・リーダーシップの3つを重点的かつ実践的に学ぶためのデザインスクールを実現します。”

(出典) 一般社団法人デザインシップ「実践型デザインスクール Designship Do」
<https://do.design-ship.jp/1st>

- Society5.0の到来、人口減少、コロナ禍など、変化が激しく不確実性が高まる時代
→時代変化に柔軟に対応でき、付加価値の高い仕事ができる社会人の育成が求められている。
- 機械やAIでは代替できない、創造性・感性・デザイン性・企画力などを育成。
- 大学等において「教育プログラムの開発」や「拠点形成」を行い、我が国の国際競争力向上・生産性向上に資する「組織」と「人」の変革を推進。

事業概要

○創造的な発想をビジネスにつなぐ教育プログラムの開発及び拠点の形成

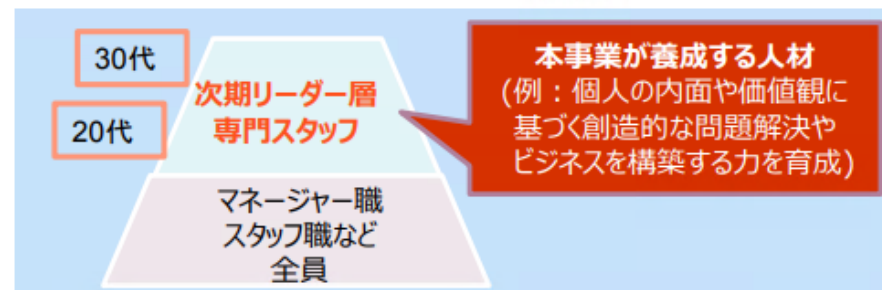
①大学等と企業等が連携・協働したコンソーシアムの形成

- ・企業からプロジェクトテーマの提供
- ・プロジェクトをサポートする社会人メンターの育成や派遣を促進
- ・イノベーション人材の活用に積極的な企業の協力

②価値創造人材育成プログラムの開発

- ・プログラムディレクターやファシリテーター、メンター等を配置し、少数精鋭の尖った人材を育成
- ・海外・国内のアート系大学との連携による最新の教育プログラムを開発（アート思考を基本に創造性・デザイン性等を育成）
- ・企業と連携したPBL型の教育プログラム（最新のIT・テクノロジー等を活用したアイデアの具現化と市場調査など）
- ・平日夜間や休日の開講、eラーニングの活用など、社会人に配慮した授業の実施
- * 経済産業省と連携し、人材育成がビジネスモデル等に発展する仕組みを構築

価値創造人材育成事業の体系図



事業期間: 5年間 (1年目:コース開設準備、2~4年目:コース開設・改良、
5年目:教育プログラムの全国展開)

支援件数:48,000千円 (人件費、旅費等) × 2拠点 = 96,000千円

支援対象:大学・専門職大学・短期大学・専門職短期大学・高等専門学校・専修学校

アウトプット(活動目標)

- ・事業における実施大学数・連携企業数
- ・開発したプログラムの社会人受講者数
- ・プログラム修了者数
- ・修了者のプログラム満足度 80%以上

アウトカム(成果目標)

- ・連携企業の事業満足度 100%
- ・アート思考を取り入れたプログラムを実施する
大学数の増加
- ・創造力を重視する企業の増加

インパクト(国民・社会への影響)

- ・既存の価値観や枠組みに捕らわれない創造力のある
人材育成の強化
- ・付加価値を高めた商品開発や新しい社会の在り方の創出
- ・生産性の向上、国際競争力の確保

デザインの対象は拡大 + デザイナーに求められる役割も拡大・高度化

